

インスリンで糖尿病が完治する！？

昨年 10 月NHKの『ためしてガッテン』で、すい臓を復活させる薬としてインスリンが紹介されました。果たしてインスリンで糖尿病が完治するのでしょうか？

番組内でも紹介されていましたが、2 型糖尿病の場合暴飲暴食などで血糖値が高くなると体の中でインスリンを作っている膵臓のβ細胞が疲れ果て、インスリンを出せなくなってきます。さらに血糖が増え続けると、血糖に攻撃され最悪の場合β細胞は死んでしまいます。そうするとインスリンは出せなくなるので、糖尿病はますます悪化してしまいます。

インスリンを使用するとβ細胞を休ませてあげることができるので、β細胞が元気を取り戻すことができます。ただし、すでに死んでしまったβ細胞を復活させることはできません。したがって使うタイミングが重要で、インスリンで完治する訳ではありません。

インスリンというと皆さんはあまり良くないイメージが強いと思います。なぜなら糖尿病治療の最後の最後、相当悪くなった人が使う薬だと思っているのでは？ 確かにインスリンが高価であった時代はそうでした。1921 年にインスリンが発見され、その後製品として発売された当初は牛や豚のすい臓を集めてインスリンを取り出していました。当然高価な薬だったことは言うまでもありません。

現在のペン型インスリン 1 本分を作るために 340kg の家畜のすい臓が必要でした

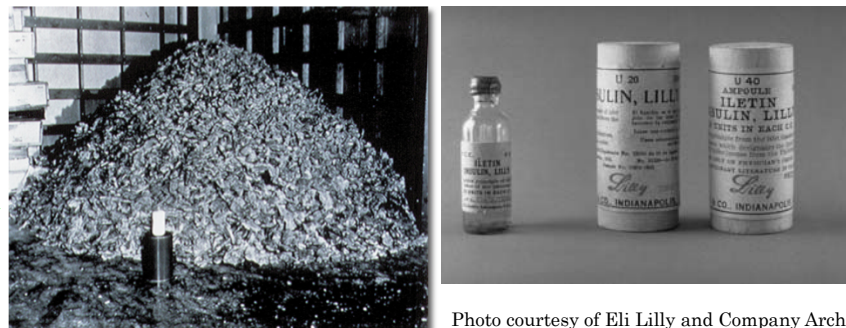


Photo courtesy of Eli Lilly and Company Archives

現在は人間と同じインスリンを合成できるため、発見当時に比べれば安価に買えるようになり、また製造技術が向上したことで安全に使用できるインスリンが発売されています。

治療方法も糖尿病の患者さんが入院して行うような短期的なインスリンの使用もあれば、BOT（1日1回インスリンを使用し、足りない部分は飲み薬で治療）も盛んに行われています。一人一人の患者さんの状態に合わせて治療方法を考えていく必要があります。

平成二十四年二月版（隔月発行）
春日井市民病院
糖尿病センター発行

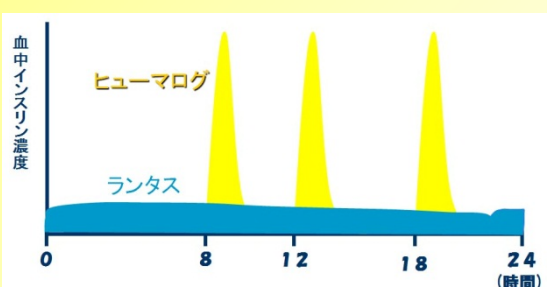
薬剤師
服部
田中
大岩

インスリンの使用方法



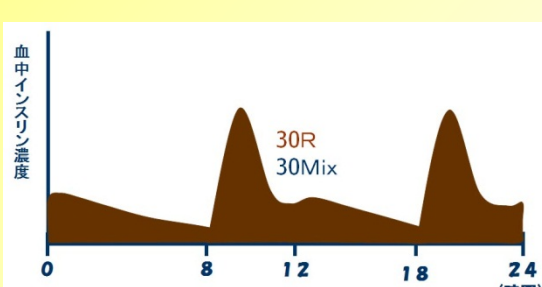
強化療法

効きの速いインスリンと1日ゆっくり効くインスリンを組み合わせで使用します。



1日2回療法

効きの速いインスリンとゆっくり効くインスリンを混ぜたものを朝夕注射します。



BOT

ゆっくり効くインスリンを1日1回注射し、内服薬を併用することもあります。

